

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

※市長コメントあり

それでは、9月の月例記者会見の資料について説明いたします。

#### 【市長】

資料No.1「地域イノベーション戦略」についてです。

裾野市が新たに掲げる地域活性のための戦略として、皆様にご紹介をいたします。スタートアップ推進をはじめとし、新たな取り組みをスタートしますので、その背景や詳細につきまして、副市長 大西から説明をいたします。

#### 【大西副市長 説明】

副市長の大西です。

今回の地域イノベーション戦略について、私からはその目的と意図をお話いたします。

裾野市がこの戦略に取り組む大きな目的とゴールは、**地域を活性化し、未来をサステナブルに残していく**ことです。人口減少や高齢化、産業の担い手不足といった構造的な地域課題が進行する中で、地域がこれからも持続的に成長し、次の世代に引き継いでいけるようにする。これが最大の狙いです。

そのための具体的な目標は二つ。

一つは、市内総生産を高めること。新しい産業や雇用を生み出し、地域経済を強くしていきます。もう一つは、交流人口・関係人口を増やすこと。裾野に人が集まり、交わり、挑戦が生まれる環境をつくります。

そして、この目標を実現するための重要な方向性が、裾野で地域のイノベーションをすすめるためのエコシステムの形成です。裾野全体を“実証のフィールド”として開き、市民・企業・大学・行政などが共に創る、共創をしながら、新しいサービスや技術を試し、育て、定着させていく。この循環を仕組みとしてつくることで、裾野の未来を持続可能にしていきたいと考えています。

もちろん、エコシステムは一朝一夕で完成するものではありません。その第一歩として、まずは行政が旗を振り、挑戦の場をひらくことから始めます。行政が主体的に取り組み、地域の皆さんや企業に安心して参加いただける環境を整えていくことが大切だと考えています。

本日の会見では、この戦略を実際に動かしていくためのイベントや、共創パートナー制度についてもあわせてご紹介します。これらはまさに、裾野市が旗を振りながら具体的に進める第一歩となる取り組みです。

引き続き、キックオフイベントに関しては渉外課 大友より、共創パートナー制度に関しては、戦略推進課 西島から説明させていただきます。

#### 【渉外課 大友係長 説明】

渉外課の大友です。よろしくお願いいたします。

資料No.2 をご覧ください。「地域イノベーションキックオフイベント」と題し、裾野市のこれからのスタートアップ施策の取組みと裾野市の環境、課題などについて、スタートアップの方に知ってもらうための契機とするイベントとして開催します。

開催日は 10 月 24 日、25 日の2日間、会場は生涯学習センター、市民文化センター、市役所を予定しています。

スタートアップ、投資家、約 80 人、市内企業・事業者・金融機関・行政関係者等約 40 人、計約 120 人を募集する予定です。

スタートアップ事業のキーマンや市内事業者等によるトークセッション、ディスカッション、裾野市の地域イノベーション戦略の発表を行います。

また、登壇者として、市長、大西副市長に加え、静岡県鈴木康友知事、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部の伊藤羊一(いとう よういち)学部長等をお迎えする予定で、参加者の募集は、本日9月4日 12 時より開始します。

本イベント開催を契機として、スタートアップと地域事業者の共創のフィールドを構築してまいります。

以上で、説明を終わります。

#### 【戦略推進課 西島主査 説明】

戦略推進課の西島と申します。私からは「共創パートナー提案募集制度について」説明します。

裾野市では、地域イノベーション戦略の一環として、多様なプレイヤーが共創する「裾野イノベーションエコシステム(仮)」の構築を目指しています。この制度は、その前段階として、行政と事業者が連携しながら、小規模な実証を通じて、将来的な仕組みづくりにつなげることを目的としています。

この制度では、地域課題の解決やスタートアップの創出、域外企業の誘致、行政サービスの質の向上など、裾野市の戦略に資する内容について、事業者から自由な提案を募集します。行政側もオープンイノベーションを実際に体験しながら、提案の具体化や実証に向けた準備を進めていきます。

市のホームページに掲載をし、事前相談や提案書の受付を行います。

今年度の取組として、運用期間を令和 7 年 9 月 4 日から令和 8 年 3 月 31 日までとしています。制度の運用状況を踏まえて、令和 8 年度以降の運用を検討していく予定です。

以上で、説明を終わります。

#### 【市長】

資料No.3 「裾野市の企業支援事業「沼津高専生 事業所・工場見学」」についてです。

裾野市は、「人と企業に選ばれるまち」の実現を目指しており、令和4年9月に制定した企業立地方針では「市内立地企業への支援」も重要な施策として位置づけています。

今回の取組は、優秀な人材を確保したいという市内立地企業に対する支援を主な目的にしています。私が企業訪問をした際にも企業の皆様から「人材の確保」に関する課題について何度も

お聞きしていました。

一方で、沼津高専様では、本格的な就職活動が始まる前の3年生に対するキャリア支援として、地域の企業を知ってほしいという話があったことから、裾野市が企業と沼津高専様のハブとなり、今回の取組の実施に至りました。

事業の詳細につきましては、渉外課の武田主事から説明します。

#### 【渉外課 武田主事 説明】

渉外課の武田です。よろしくお願いいたします。

市内立地企業の人材確保と沼津高専生のキャリア支援を目的として、同校の学生による市内立地企業の事業所・工場見学を実施します。

実施日は、9月19日(金)で沼津高専の5つの学科に在学する3年生が市内4つの企業を訪問し、事業の紹介を受けたり、工場内の見学や社員との座談会などを行います。

5つの学科が訪問する企業は資料に記載のとおりです。

この取組は、企業支援を行う裾野市、優秀な人材を確保したい企業、学生のキャリア支援を行いたい沼津高専の3者の狙いを連携した取組です。

報道の皆様には、当日の取材についても是非よろしくお願いいたします。

以上で、説明を終わります。

#### 【市長】

資料No.4「敬老事業に伴う百歳長寿者への市長訪問」についてです。

今年も敬老事業一環として、100歳を迎えられる22名様のうち3名様に対して、老人週間中である9月17日(水)に直接訪問させていただき、祝意をお伝えさせていただきます。

その際には、長寿の秘訣などについてもお話をお伺いできればと考えております。

また、新たに77歳・88歳になられた方々に対しまして、資料のとおり、記念品をお送りさせていただきました。

どうかこれからも、ますますお元気でお過ごしいただきますよう、お祈り申し上げますとともに、住みよい裾野市づくりへのご理解とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

詳細は別添資料をご参照ください。

#### 【市長】

資料No.5「トヨタ ガズーレーシング ウェック ファンミーティング in 裾野」についてです。

WEC(ウェック)富士6時間耐久レースが富士スピードウェイで開催されることを受け、トヨタガズーレーシングのドライバーが裾野市で交流イベントを開催します。

6月に開催されたル・マン24時間耐久レースにあわせ、トヨタ自動車㈱と共催で実施したパブリックビューイングには、昨年を大きく上回る500名以上の方にご来場いただきました。

レースに参戦しているマシンは、当市のトヨタ自動車㈱東富士研究所で開発されていることから、ル・マンを応援していただいた地元の皆様にドライバーから直接感謝を伝えると共に、年に1回の母国ラウンドを盛り上げるためのファンミーティングイベントを、トヨタ自動車㈱と共催

で裾野市民文化センターにて開催します。

当日は、ドライバートークショー、抽選サイン会、記念撮影などを予定しています。

ファンミーティングには、トヨタガズーレーシングの全ドライバーに加え、中嶋一貴(なかじまかずき)副会長も参加します。

また、実際にレースに参戦しているメイド・イン・裾野のマシンも会場にやってきます。

そして、イベントでレースへの期待を高めていただき、レース当日はぜひ富士スピードウェイ現地で応援していただきたく、市内の親子100組200名をレース決勝日に無料招待します。

当日は、「裾野キッズサポーターズ」と称し、一致団結してスタンド応援席からフラッグを振ってチームにエールを送ってもらい、楽しい思い出をつくっていただきます。対象は、裾野市内に住む小中学生とその保護者です。

ぜひ、事前の告知と当日の取材をよろしくお願いします。

以上で説明を終わります。